

# 山梨県情報システム最適化計画の概要

## 【計画の期間】

平成26年度～平成30年度(5年間)

## 【計画の目的】

経費削減

業務効率向上

安定稼働

## 【本県における情報システムの現状と主な課題】

### 情報システム

(特命)随意契約が多く、市場における競争原理を十分に活用できていない。

システムライフサイクルを意識した中長期的なシステムの調達・管理が十分でない。

確保しているリソースが有効に活用されていない。

同一の機能やデータを個別システムで重複して実装している。

システム間連携がブラックボックス化している。

システム特性に応じた信頼性や可用性、運用保守、セキュリティ関連の要件を策定するための庁内的な指針がなく、適正な水準の要件が実現されていないシステムがある。

ICT - BCPの確立に向けた対策が不十分である。

サーバ統合に向けた指針や基準がない。

### 管理態勢

システムライフサイクルのプロセス管理の水準が部局ごとに異なっており、全庁横断的な管理態勢も不十分である。

システムライフサイクルにおけるルールは定義されているが、ルールを活かすためのプロセスの定義が不十分である。

システム管理における必要なスキルが不十分であり、また庁内に必要なICT人材の育成・確保の方針が不明瞭である。

## 【最適化基本方針】

情報システム 「統合」・「共通化」

管理態勢 「ルールの標準化」・「体制の強化」

## 【改善の方向性と改善施策】

### 管理態勢の確立

#### 1 管理態勢の確立

- ✓ 情報部門を中心とした体制及び管理工程プロセス(事前協議及び調達協議の新設等)を整備する。

#### 2 標準ドキュメントの整備

- ✓ 仕様書等の「標準ドキュメント」を整備し、全庁的に共有する。

### 業務継続への対応

#### 1 ICT - BCPの改善

- ✓ 既存のICT - BCPを全庁的な計画に改訂した上で、システムごとの「行動手順書」を策定する。

#### 2 ファシリティ環境の見直し

- ✓ 庁内コンピュータ室・サーバ室の環境を調査・診断し、必要な整備等を実施する。

### 情報システム基盤の整備・拡張

#### 1 サーバ統合の推進

- ✓ サーバ統合に係るルールを策定し、順次サーバ統合するシステムを拡大する。

#### 2 共通基盤の整備・利用促進

- ✓ 統合職員認証(1回の認証で複数のシステムを利用可能にする仕組み)等に加え、次の各機能を「共通基盤」として整備し、利用を促進する。
  - ・連携基盤(システム間の連携を一元管理する仕組み)
  - ・共通データ管理(複数のシステムで共通利用するデータを一元管理する仕組み)
  - ・統合運用管理(複数のシステムの運用監視やバックアップ等を統一する仕組み)

### ICT人材の育成

#### 1 ICT人材育成の強化

- ✓ ICT人材に求められるスキルを明確化し、「ICT人材育成方針」として取りまとめ、必要な施策を推進する。

### 運用保守の適正化

#### 1 統合運用管理の拡大

- ✓ サーバ統合されたシステムを対象として、統合的な運用管理を拡大する。

#### 2 運用保守契約の見直し推進

- ✓ 既存の運用保守契約の見直しを図り、委託項目の適正化を推進する。

### 個別システムの見直し

#### 1 システム統合の推進

- ✓ 同種のシステムが複数あるシステム(GISやホームページ)について、システムの統合を推進する。

#### 2 個別システム再構築

- ✓ 個別システムの再構築手法に関する方針を整備し、再構築が必要なシステムについて再構築を実施する。

## 【成果指標(目標)】

### 経費削減

維持管理経費削減率	10%
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ システムの維持管理経費で、基準額から削減された経費の割合・基準額は平成20～24年度の平均値を採用</li> </ul>	
開発経費削減率	15%
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ システムの開発に係る見積額から事前協議・開発協議を通じて情報政策課が削減した経費の割合</li> </ul>	

### 業務効率向上

業務時間削減率	5%
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 再構築対象システムのうちシステム導入後のシステム管理業務について、実際に削減された業務時間の割合</li> </ul>	

### 安定稼働

目標稼働率達成率	100%
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スタンドアロン型を除く全システムのうち目標とする稼働率(計画停止を除く)を達成できたシステムの割合</li> </ul>	